

Schedule

海渡りの日

令和6年 9月28日(土)

10:00 ~ 14:00

競舟の乗船体験 29日 15:00 ~ 17:00

《海渡り》作品公開

令和6年 9月30日(月)

10月26日(土)

糸あげの日

令和6年 10月27日(日)

10:00 ~ 13:00

弁天様のお祭り

*旧暦9月26日

令和6年 10月28日(月)

11:00 ~ 14:00

五十嵐靖晃 海渡り

 つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

IGARASHI Yasuaki “Umizwatari”

2018年、熊本県津奈木町の地域資源をアートにより再評価し、活性化につなげるアートプロジェクト「つなぎまちのつなぎかた」がアーティストの五十嵐靖晃により始まりました。3年に及ぶりサーチと対話により2021年に生み出された《海渡り》は、古くから旧暦9月26日に行われてきた「弁天様のお祭り」を、町内外の人々と共にアートの力によって再構築し、後世に受け継いでゆくことを目指して毎年行っている、新しいかたちのアート作品です。

令和6年《海渡り》スケジュール ※荒天時は中止します。

1. 海渡りの日

9月28日(土) 10:00～14:00 (参加自由) 12:13干潮(若潮)

29日(日) 11:00～17:00 (参加自由) 13:02干潮(中潮)

… 参加者全員で赤い糸を持って海を渡り、島と陸をつなぎます。

29日の15:00～17:00は競舟の乗船体験を行います。

2. 《海渡り》作品公開

9月30日(月)～10月26日(土) (無料公開)

… 島と陸をつなぐ102本の赤い糸が空に浮かぶ作品《海渡り》を展示します。

3. 組紐ワークショップ ※関係者のみ

10月25日(金) 9:00～15:00 8:28干潮(小潮)

… 津奈木小学校の3年生に組紐を体験してもらいます。

4. 糸あげの日

10月27日(日) 10:00～13:00 (参加自由) 11:22干潮(長潮)

… 参加者全員で赤い糸を引き上げ、鳥居を元に戻します。

5. 弁天様のお祭り *旧暦9月26日

10月28日(月) 11:00～14:00 (参加自由) 12:19干潮(若潮)

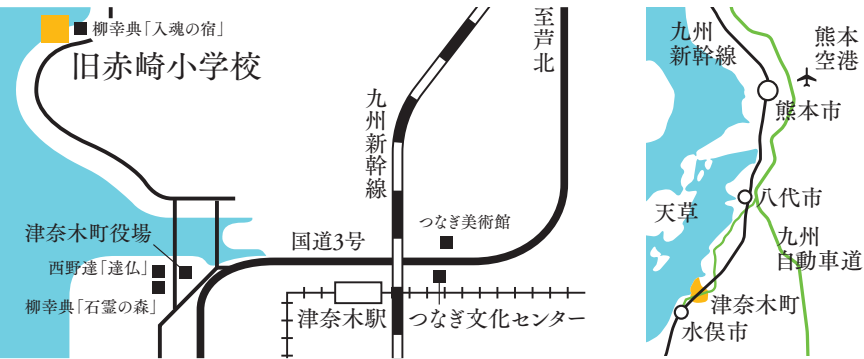
… 島の祠の弁天様に、津奈木の町の安泰を祈ります。

会場:旧赤崎小学校付近
(熊本県葦北郡津奈木町福浜165番地)

主催:津奈木町、つなぎ美術館／協力:津奈木海龍
企画・構成:楠本智郎、濱田真大／映像:仲信達也
広報物編集・デザイン:三迫みさこ

【つなぎ美術館】〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494

TEL 0966-61-2222 FAX 0966-61-2223 tsunagi-art.jp



鳥居に使う白木も、以前から弁天島のお祭りをされている松田テル子さんの山に探しに行ったじゃないですか。あれも、強さんが「これがいいんじゃない」って言って、ずっと決まりましたよね。
強… ちょっとこう、曲がつてる木じゃないとダメなんです。鳥居にしたときに肩をあげたみたいにならないから。今、丸太で売ってるお店なんかは、ほとんど曲がつてる木がないんですよ。
五十嵐… 確かに鳥居って、反ったような、胸を張ったような形であってほしいってのはありますよね。

作って頂いたじゃないですか、強さんから聞いてすごいなと思ったのは、昔、不知火海で太刀魚漁してた時の、その糸巻きと大体同じサイズなんだそうですね。
強… 手で回せるぐらいの大きさにしないと、大きく作っても巻ききらないでしょ。手で一番やりやすい大きさにしています。
五十嵐… 津奈木のじいちゃんたちが糸を巻きながら「太刀魚漁の感じに似てる」って言ったのは、自然とそのサイズになるってことなんですわね。
強… そうだね。この糸巻き機は子どもがいるからちっちゃいのもいいかもわからないけど、でも、全部サイズは同じにしとかなないと、どんな人が引つ張る

かわからんから。
五十嵐… 強さんは過去に漁師さんに糸巻き機の製作を頼まれたことはあったんですか？
強… いや、ない。それは俺、小さい頃から見るから。
五十嵐… そっか。ずっと見てるし、わかってるから作れる。元々その土地が持っている道具とか、《海渡り》の道具が、津奈木で魚を捕る道具と同じサイズ感、形になってるっていうのは、道具を通じて人の所作が時間を超えて繋がっていく、そういう力を持ったものなんだなと思っただけ。
強… 子どもたちが《海渡り》で糸を巻いたりするのも、いい経験になると思いますよ。



◎ 不知火海を望める作業場、強さんが自分で建てた。

五十嵐靖晃

いがらし やすあき / アーティスト

1978年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは「自然と人間の関わり」の術であると考え、2005年にヨットで日本からミクロネシアまで約4000kmを航海した経験から「海からの視座」を活動の根拠とする。代表的なプロジェクトは、《くすかき》(太宰府天満宮／2010～)、《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭2013・2016・2019)、《時を束ねる》(南極ビエンナーレ2017)など。2024年、千葉県立美術館開館50周年記念特別展「五十嵐靖晃 海風」を開催した。
<http://igayasu.com>



◎ 昨年度の《海渡り》の様子: 1.2.津奈木海龍による競舟体験／3.参加者が糸を運ぶ「海渡りの日」／4.完成した作品《海渡り》は1ヶ月間公開された／5.弁天様のお祭り／6.直会では郷土料理「ひろす」も振る舞われた

道具を作る。文化をつなぐ。

今年も弁天島を舞台に行われる《海渡り》。この冊子では、これまでに競舟(津奈木海龍)、郷土料理の「ひろす」といった津奈木町の文化を紹介してきました。今回は「吉野大工」こと大工の吉野強さんと、アーティストの五十嵐靖晃がオンライントークを行いました。

神様がいる島の鳥居

五十嵐… (パソコンの画面越しに) 今日はずっと軽く飲んでる？ ほんのり色味を感じるなと。
強… これ日焼け！ (笑)

五十嵐… あ、日焼けですか。失礼しました(笑)。一番最初は、赤崎での皆さんとの話し合いのときに、《海渡り》をやるなら鳥居も復活させようって話になったんですよね。強さんの中で、赤崎の弁天島の鳥居ってどんな思い出がありますか？
強… 昔の鳥居は、俺たちの小学校の頃はずっと壊れつつなんです。還暦の時に、同級生と復活させようと思ってたんですけど、みんなが乗ってこなかったから出来なかったんですよ。
五十嵐… 津奈木の人にとって、鳥居はそれぐらい象徴的な存在だったんですね。弁天島に鳥居があったら目立ちますもんね。
強… やっぱ鳥居がないと島の上に祠があるけど、神様がいるかとうかがわかんないでしよ。

強… 普通の鳥居っていうのは、奉納したら外したらいかんとすよね。壊れる。
五十嵐… でも逆に、毎年面倒を見続けてくたさってるじゃないですか。鳥居を島から下ろした時には表面を磨き直していただいたりとか。いつも綺麗になって、新調されるような感覚があります。

強… うん、そんなに行かないです。
五十嵐… そんな鳥居が、今回はまた《海渡り》をきっかけに強さんに依頼があったから復活できたんですね。しかも組み立て式で、《海渡り》の二ヶ月間は糸を張る柱に差し替えるけど、それが終わったら鳥居を組み直して十一ヶ月維持してっていう形になりました。強さんにとってもこんな形の鳥居作りってきつと初めてなんじゃないかなと思うんですけど。
強… 普通は鳥居っていうのは、奉納したら外したらいかんとすよね。壊れる。



◎ 吉野強さんが《海渡り》のために作った作品。1.陸から島に糸を運ぶための糸巻き機(令和3年)／2.復活した弁天島の鳥居(令和3年)／3.組紐を組むための組台(令和4年)／4.参加者の名前が並ぶ木札(令和5年)／5.弁天様に供える品を置く台(令和6年)